

Ⅱ 職員の健康管理

Ⅱ 職員の健康管理

一般定期健康診断については、山口大学職員労働安全衛生規則第26条に基づいて年1回の実施している。また、労働安全衛生規則第13条あるいは労働安全衛生法施行令第22条に掲げる業務に常時従事している職員(特定業務あるいは特殊業務従事者)に対しては、6ヵ月(半年)ごとに健康診断を実施している。

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

職員の健康診断は、山口市(吉田地区<附属小・中学校、幼稚園、特別支援学校を含む>)、宇部市(常盤地区・小串地区)、光市(光地区<附属小・中学校>)の大きく4地区に分けて実施している。

本学で実施している定期一般健診の検査項目と各項目の対象者を表1に示した。●印は全員が行う項目(必須項目)、○印は医師が必要と認めた者及び大学が定めた者に行う項目、△印は希望者に行う項目を表す。

職員の定期健康診断は、安全衛生対策室が実施主体であるが、基本健診の実実施計画立案や外部検査機関との調整は保健管理センターが行っている。大まかな役割分担としては、実施通知や受診対象者の把握、検査物品等の事前配付及び結果報告書配付などの事務的な作業は安全衛生対策室が担当し、健康診断実施に関する実働的な作業(検査物品の調達・準備、案内書類の作成や健診会場の設営、健康診断結果の整理・判定作業、結果通知報告書作成など)は、保健管理センターが担当している。健康診断の外注化が検討され、2018年度から光地区附属学校職員、2021年度から山口地区附属学校職員の定期一般健診について健診委託業者による学内実施に変更された。また、2019年度には外部委託医療機関で実施していた雇用時健診が健診委託業者による学内実施に変更され、受診者の利便性の向上・雇用時健診費用の削減が図られた。コロナ禍の対応として、健診会場内での混雑を避けるため、2021年度からWeb予約制を導入した。さらに、2022年度には事前配付していた健康診断問診票を廃止しWeb問診を導入し、健康診断の効率化に努めている。

表1 各検査の対象者および検査項目

検査項目	対象者区分				備考	
	34才以下	35才	36~39才	40才以上		
基本健診	身体計測(BMI)	●	●	●	●	
	血圧検査	●	●	●	●	
	尿検査	●	●	●	●	蛋白、糖、潜血
	胸部X線検査	●	●	●	●	※2019年~デジタル撮影
	聴力検査	○	●	○	●	※○:問診による会話法
	視力検査	●	●	●	●	
	腹囲計測	—	●	—	●	BMI20未満の人は省略可
	心電図検査	—	●	—	●	
	血液検査	○	●	○	●	末梢血(WBC、RBC、Hb、Ht) 肝機能(AST、ALT、γ-GT) 脂質(LDL・HDLコレステロール、中性脂肪) その他(血糖、尿酸、血清アミラーゼ、 総コレステロール、血小板、クレアチニン) ※○:39歳以下の年度末奇数年齢
	内科診察	●	●	●	●	自覚症状・他覚症状、既往歴、 業務歴等問診票に基づく問診
※ 肺がん検診	—	—	—	△	胸部X線(デジタル)、喀痰検査	
※ 大腸がん検診	—	—	—	△	便潜血反応検査(2日法)	
※ 前立腺がん検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	
※ 胃がんリスク検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	

2022年度及び2023年度の各地区の定期健康診断時期及び実施場所は表2の通りであった。

表2 各地区の実施日および実施場所

	地区名	実施時期	実施場所
2022 年度	吉田	雇用時健診・附属学校(幼・小・中学校・特別支援学校)一般定期健診同時期実施:4/4(月) ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺) ※附属学校職員の前立腺がん、胃がんリスク検診は吉田一般定期健診と同時実施	大学会館
		一般定期健診:7/20(水)~7/28(木) * 受付:9:00~12:00 ※附属学校職員(幼・小・中学校・特別支援学校)の前立腺がん、胃がんリスク検診含む	保健管理センター
	小串	雇用時健診:4/7(木)~4/8(金) ※常盤地区雇用者含む ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター)	医学部医心館(保健管理センター小串分室)
		一般定期健診:9/7(水)~15(木)・27(火) * 受付:9:00~12:00、13:30~15:30	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※全日程胸部X線検診車2台体制
	常盤	一般定期健診:8/8(月)~10(水) * 受付:9:00~12:00	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
	光	一般定期・雇用時健診:4/6(水) ※健診委託業者により健診実施(結果判定・通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	附属光中学校保健室
	2023 年度	吉田	雇用時健診・附属学校(・幼・小・中学校・特別支援学校)一般定期健診同時期実施:4/4(火) ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺・胃) ※附属学校職員の前立腺がん、胃がんリスク検診は吉田一般定期健診と同時実施
一般定期健診:7/19(水)~7/27(木) * 受付:9:00~12:00 ※附属学校職員(幼・小・中学校・特別支援学校)の前立腺がん、胃がんリスク検診含む			保健管理センター
小串		雇用時健診:4/6(木)~4/7(金) ※常盤地区雇用者含む ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター)	医学部医心館(保健管理センター小串分室)
		一般定期健診:9/5(火)~14(木) * 受付:9:00~12:00、13:30~15:30	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※全日程胸部X線検診車2台体制
常盤		一般定期健診:8/2(水)~4(金) * 受付:9:00~12:00	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
光		一般定期健診・雇用時健診:4/5(水) ※健診委託業者により健診実施(結果判定・通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	附属光中学校保健室

2) 受診状況

(1) 職員健康診断概況

2020年1月に日本国内で新型コロナウイルス感染症が発生し、職員健康診断での感染拡大防止対策として、大幅に健診体制の見直しが余儀なくされた。受付時に体温チェックや緊急事態宣言地域からの帰着の聞き取り、検査機器の消毒や胸部X線検査受診前後の手指消毒などの対応が必要となったため、雇用健診スタッフも増員せざるを得ない状況であった。また、診察は聴診が必要となるため、接触を避ける目的と診察の待ち時間での混雑をさけるため、初年度(2020年度)は、当日の診察は実施しないこととし、医師の判断で受診が必要な人や診察希望者は後日受診してもらう形とした。聴力に関しても、健診時の混雑緩和の為、これまで全職員にオーディオメーターで実施していたところを、若年者(40歳未満<35歳を除く>)は会話法でも可能とした。尿検査は、健診当日に随時尿で検査していたところを、事前にピーポールを配布して当日尿を持参してもらうなどの対応で実施した。2021年度からは、部署や誕生月等で受診者割振をしていたところを、吉田地区および常盤地区においては、Web予約システムを導入して受診者の分散を実現し、健診会場内での混雑を避けるよう工夫した。小串地区では診察医師を3名体制とすることで、健診当日の内科診察を復活した。2022年度からは、さらにWeb問診システムの導入により、健康診断の一部ペーパーレス化を実現した。健診会場内での感染防止のため、2022年度及び2023年度ともに、健診会場内での不織布マスク着用および手指消毒に協力してもらい、若年者の聴力は、引き続き、会話法で実施した(有自覚者を除く)。

コロナ禍を機に、健康診断の受診方法がWeb予約・Web問診へと変更され、導入準備にかかる看護職の負担は多大であったが、受診時の混雑を緩和することができ、受診者からも受診時間を自身で選択できると好評であったため、今後も引き続き、現システムを継続していく予定である。

以下に2022年度及び2023年度の職員健康診断受診状況を表3、4に示した。受診者は、保健管理センターで実施する学内で健康診断を受診した者の他に、雇入時健康診断、人間ドック、その他健康診断の結果を提出した者の総数である(週当たり20時間以上勤務者+特定業務従事者)。

大学法人化以降は、職員健康診断の受診義務及び未受診者への措置が明記されたことで、健康診断受診の意識は高まり、2017年度ついに100%を達成した。その後、100%に至らない年度もあったが、2020年度は再び100%を達成した。2021年度以降は各年度ともに未受診者1~2名程度で推移している。

また、健診受診者の事後措置に対するフォローアップを充実させるため、精密検査が必要と判定された者に対し、「要精査」・「要医療」・「要治療」と判定区分レベルを設けて、異常の程度に応じて受診勧奨を行い、二次検査結果の報告を求めることとしている。現時点において、学内規則等で二次検査結果報告の義務は定めておらず任意報告となっているが、就業上の配慮について検討するため、「要医療」及び「要治療」判定区分であった者にはより強い受診勧奨、「要精査」判定区分であった者には、できる限り報告するよう協力と理解を求めている。なお、二次健康診断等給付についても全職員にメールで積極的にアナウンスし、二次精査受診を促している。2017年度より二次精査受診を促進するために受診においては、職務専念義務免除を適応し、所属の勤務時間管理員に申し出るよう手順の周知も行っている。

今後も一次健診受診率の維持、向上を図るとともに、健診後のフォローアップについても充実させ、山口大学全体の心身の健康状態を高めるよう働きかけていく必要がある。

表3 職員健康診断受診状況(2022年度)

令和5年7月4日現在

部 局	定期健診 対象者数 (A)	定期健診 受診者数 (B)	定期健診受診者数内訳		受診率 (B/A)	未受診者 数 (A-B)	受診予定 未確定数	
			保健管理 センター受診	他受診				
人文学部	50	50	47	3	100.00%	0	0	
教育学部	104	104	92	12	100.00%	0	0	
教育学部 附属学校園	附属山口小学校	28	28	28	0	100.00%	0	0
	附属山口中学校	28	28	28	0	100.00%	0	0
	附属特別支援学校	34	34	34	0	100.00%	0	0
	附属幼稚園	12	12	12	0	100.00%	0	0
	附属光小学校	32	32	32	0	100.00%	0	0
	附属光中学校	21	21	21	0	100.00%	0	0
経済学部 東アジア研究科	81	81	65	13	100.00%	0	0	
理学部	77	76	67	9	98.70%	1	1	
医学部	491	491	470	18	100.00%	0	0	
附属病院	1,519	1,519	1,504	15	100.00%	0	0	
工学部 技術経営研究科	248	248	210	35	100.00%	0	0	
農学部	48	48	38	10	100.00%	0	0	
共同獣医学部	83	83	75	8	100.00%	0	0	
国際総合科学部	36	36	32	4	100.00%	0	0	
学長室 内部監査室 総務企画部	学長室	10	10	6	4	100.00%	0	0
	内部監査室	4	4	1	3	100.00%	0	0
	総務課	19	19	17	2	100.00%	0	0
	人事課	48	48	43	5	100.00%	0	0
	企画・評価課	6	6	5	1	100.00%	0	0
	地域連携課	12	12	8	4	100.00%	0	0
情報企画課 情報基盤センター	吉田	10	10	10	0	100.00%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.00%	0	0
	小串	1	1	1	0	100.00%	0	0
財務部	財務課	27	27	21	6	100.00%	0	0
	契約課	20	20	20	0	100.00%	0	0
施設環境部	23	23	19	4	100.00%	0	0	
教育・学生支援機構 学生支援部	吉田	87	87	58	19	100.00%	0	0
	小串	3	3	3	0	100.00%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.00%	0	0
大学研究推進機構 時間学研究所 学術研究部	吉田	32	31	26	5	96.88%	1	1
	小串	42	42	39	2	100.00%	0	0
	常盤	35	35	31	2	100.00%	0	0
学術基盤部	吉田	25	25	24	1	100.00%	0	0
	小串	4	4	4	0	100.00%	0	0
	常盤	3	3	3	0	100.00%	0	0
総合技術部	吉田	14	14	14	0	100.00%	0	0
	小串	6	6	5	1	100.00%	0	0
	常盤	27	27	27	0	100.00%	0	0
計	3,365	3,363	3,159	182	99.94%	2	2	

・長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があって受診できない者は、定期健診対象者から除いています。

・定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を受領した人数を示しています。

表4 職員健康診断受診状況(2023年度)

令和6年3月31日

部局等	定期健診 対象者数 (A)	定期健診 受診者数 (B)	定期健診受診者数内訳		受診率 (B/A)	未受診者数 (A-B)	受診予 定未確 定数	
			健康科学 センター 受診	外部受診				
人文学部	47	46	37	9	98.0%	1	1	
教育学部	95	95	76	19	100.0%	0	0	
教育学部 附属学校園	附属山口小学校	26	26	26	0	100.0%	0	0
	附属山口中学校	22	22	22	0	100.0%	0	0
	附属特別支援学校	34	34	34	0	100.0%	0	0
	附属幼稚園	10	10	8	2	100.0%	0	0
	附属光小学校	31	31	31	0	100.0%	0	0
	附属光中学校	19	19	18	1	100.0%	0	0
経済学部	71	71	56	15	100.0%	0	0	
理学部	70	70	58	12	100.0%	0	0	
医学部	472	472	435	37	100.0%	0	0	
附属病院	1,284	1,284	1,247	37	100.0%	0	0	
工学部	236	236	186	50	100.0%	0	0	
農学部	42	42	31	11	100.0%	0	0	
共同獣医学部	83	83	72	11	100.0%	0	0	
国際総合科学部	36	36	26	10	100.0%	0	0	
大学院東アジア研究科	4	4	2	2	100.0%	0	0	
学長室 総務企画部	学長室	9	9	4	5	100.0%	0	0
	内部監査室	7	7	3	4	100.0%	0	0
	総務課	18	18	12	6	100.0%	0	0
	人事課	54	54	46	8	100.0%	0	0
	企画・評価課	6	6	4	2	100.0%	0	0
	地域連携課	12	12	5	7	100.0%	0	0
情報企画課 情報基盤センター	吉田	9	9	8	1	100.0%	0	0
	小串	1	1	1	0	100.0%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.0%	0	0
財務部	財務課	26	26	21	5	100.0%	0	0
	契約課	17	17	17	0	100.0%	0	0
施設環境部	17	17	14	3	100.0%	0	0	
教育・学生支援機構 学生支援部	吉田	88	88	71	17	100.0%	0	0
	小串	3	3	3	0	100.0%	0	0
	常盤	5	5	5	0	100.0%	0	0
大学研究推進機構 時間学研究所 学術研究部	吉田	36	36	29	7	100.0%	0	0
	小串	29	29	29	0	100.0%	0	0
	常盤	43	43	37	6	100.0%	0	0
学術基盤部	吉田	23	23	21	2	100.0%	0	0
	小串	4	4	4	0	100.0%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.0%	0	0
総合技術部	吉田	10	10	10	0	100.0%	0	0
	小串	4	4	4	0	100.0%	0	0
	常盤	26	26	25	1	100.0%	0	0
計	3,037	3,036	2,746	290	99.97%	1	1	

・長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があって受診できない者は、定期健診対象者から除いています。

・「健康科学センター受診」欄は、学内で実施した一般定期職員健康診断(7月～9月)を受診し、健診結果通知を行った時点での受診者数を示しています。

・「外部受診」欄は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を提出(受領)した人数を示しています。

(2) 体格 (BMI)

2022 年度及び 2023 の BMI 値による判定結果を表 5、6 に示した。

事業場別にみても、2022 年度及び 2023 年度ともに正常範囲であった者は、約 6~7 割程度みられている。附属学校は母数が少ないこともあり、男性は約 5~6 割、女性は約 9 割となっている。男女別にみると、2022 年度も 2023 年度も女性は男性と比較し、低体重の人の割合が高かった。

表 5 BMI (体格) 判定結果 (事業場別)

2022 年度

	受検者数		判定結果区分 (%)											
			やせ		適正		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
吉田	男	364	11	3.0%	245	67.3%	99	27.2%	7	1.9%	2	0.5%	0	0.0%
	女	261	63	24.1%	167	64.0%	23	8.8%	6	2.3%	2	0.8%	0	0.0%
常盤	男	172	5	2.9%	113	65.7%	47	27.3%	6	3.5%	1	0.6%	0	0.0%
	女	92	13	14.1%	69	75.0%	7	7.6%	2	2.2%	1	1.1%	0	0.0%
小串・病院	男	587	24	4.1%	391	66.6%	142	24.2%	25	4.3%	4	0.7%	1	0.2%
	女	1267	267	21.1%	852	67.2%	117	9.2%	23	1.8%	7	0.6%	1	0.1%
附属学校	男	15	2	13.3%	9	60.0%	4	26.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	女	9	1	11.1%	8	88.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	男	1138	42	3.7%	758	66.6%	292	25.7%	38	3.3%	7	0.6%	1	0.1%
	女	1629	344	21.1%	1096	67.3%	147	9.0%	31	1.9%	10	0.6%	1	0.1%
	合計	2767	386	14.0%	1854	67.0%	439	15.9%	69	2.5%	17	0.6%	2	0.1%

表 6 BMI (体格) 判定結果 (事業場別)

2023 年度

	受検者数		判定結果区分 (%)											
			やせ		適正		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
吉田	男	377	16	4.2%	253	67.1%	94	24.9%	12	3.2%	1	0.3%	1	0.3%
	女	265	67	25.3%	169	63.8%	20	7.5%	7	2.6%	2	0.8%	0	0.0%
常盤	男	162	5	3.1%	103	63.6%	46	28.4%	7	4.3%	1	0.6%	0	0.0%
	女	94	12	12.8%	66	70.2%	13	13.8%	2	2.1%	1	1.1%	0	0.0%
小串・病院	男	585	25	4.3%	385	65.8%	148	25.3%	22	3.8%	5	0.9%	0	0.0%
	女	1218	254	20.9%	816	67.0%	117	9.6%	25	2.1%	4	0.3%	2	0.2%
附属学校	男	18	1	5.6%	9	50.0%	8	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	女	6	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	男	1142	47	4.1%	750	65.7%	296	25.9%	41	3.6%	7	0.6%	1	0.1%
	女	1583	333	21.0%	1057	66.8%	150	9.5%	34	2.1%	7	0.4%	2	0.1%
	合計	2725	380	13.9%	1807	66.3%	446	16.4%	75	2.8%	14	0.5%	3	0.1%

(3) 血圧測定

2022 年度及 2023 年度の血圧測定結果を表 7、8 に示した。

男女別にみると各年度ともに、概ね 8 割以上の方は適正血圧に該当しているものの、男女を比較すると、女性の方が適正血圧の割合が高く、適正血圧を超えると、逆転して男性の比率が高くなる傾向がみられた。血圧値は、測定手順や測定環境の影響を少なからず受けることが考えられるため、健康診断時には服装や測定のタイミング、室温や緊張感を与えない雰囲気等の環境づくりにも配慮する必要がある。小串・附属病院地区では健診会場が 2 階にあるため、1 階にエレベーターを使用についてのアナウンスをする等の配慮をしている。

表 7 血圧判定結果(事業場別)

2022 年度

事業場	受検者数		所見内訳										指導区分		
			低血圧		適正血圧		高血圧傾向		軽症高血圧		高血圧		有所見者		要管理者
													d2以上	c1以上	
吉田	男	365	0	0.0%	306	83.8%	25	6.8%	16	4.4%	18	4.9%	59	16.2%	18
	女	261	0	0.0%	246	94.3%	9	3.4%	2	0.8%	4	1.5%	15	5.7%	4
常盤	男	172	2	1.2%	142	82.6%	12	7.0%	4	2.3%	12	7.0%	30	17.4%	12
	女	92	3	3.3%	88	95.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.3%	0
小串・附属病院	男	587	0	0.0%	454	77.3%	59	10.1%	41	7.0%	33	5.6%	133	22.7%	33
	女	1267	8	0.6%	1139	89.9%	56	4.4%	35	2.8%	29	2.3%	128	10.1%	29
附属学校	男	15	0	0.0%	15	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	女	9	0	0.0%	9	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	男	1139	2	0.2%	917	80.5%	96	8.4%	61	5.4%	63	5.5%	222	19.5%	63
	女	1629	11	0.7%	1482	91.0%	66	4.1%	37	2.3%	33	2.0%	147	9.0%	33
	総計	2768	13	0.5%	2399	86.7%	162	5.9%	98	3.5%	96	3.5%	369	13.3%	96

※d2 以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

表 8 血圧判定結果(事業場別)

2023 年度

事業場	受検者数		所見内訳										指導区分		
			低血圧		適正血圧		高血圧傾向		軽症高血圧		高血圧		有所見者		要管理者
													d2以上	c1以上	
吉田	男	377	0	0.0%	303	80.4%	35	9.3%	20	5.3%	19	5.0%	74	19.6%	19
	女	265	1	0.4%	251	94.7%	8	3.0%	3	1.1%	2	0.8%	14	5.3%	2
常盤	男	162	1	0.6%	131	80.9%	18	11.1%	4	2.5%	8	4.9%	31	19.1%	8
	女	94	1	1.1%	91	96.8%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.2%	0
小串・附属病院	男	585	0	0.0%	476	81.4%	52	8.9%	34	5.8%	23	3.9%	109	18.6%	23
	女	1218	5	0.4%	1131	92.9%	40	3.3%	23	1.9%	19	1.6%	87	7.1%	19
附属学校	男	18	0	0.0%	18	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	女	6	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	男	1142	1	0.1%	928	81.3%	105	9.2%	58	5.1%	50	4.4%	214	18.7%	50
	女	1583	7	0.4%	1479	93.4%	49	3.1%	27	1.7%	21	1.3%	104	6.6%	21
	総計	2725	8	0.3%	2407	88.3%	154	5.7%	85	3.1%	71	2.6%	318	11.7%	71

※d2 以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(4)尿検査

2022年度及び2023年度の尿検査結果を表9、10に示した。2022年度と2023年度の尿蛋白の有所見者の割合は1割未満である。また、尿糖の有所見者の割合も全体としては1割未満となっていたが、事業場別にみると、尿蛋白の有所見者の割合に大きな違いはみられないものの、尿糖は常盤地区の男性の有所見者の割合が高かった。

表9 尿検査結果(事業場別)

2022年度

事業所	受験者数		一次検査					
			蛋白尿			尿糖		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	362	8	2.2%	4	10	2.8%	10
	女	261	1	0.4%	0	2	0.8%	2
常盤	男	172	6	3.5%	1	10	5.8%	10
	女	91	1	1.1%	0	2	2.2%	0
小串・附属病院	男	585	9	1.5%	4	11	1.9%	6
	女	1266	25	2.0%	3	17	1.3%	13
附属学校	男	15	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	女	9	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	1134	23	2.0%	5	31	2.7%	26
	女	1627	27	1.7%	15	21	1.3%	15
	計	2761	50	1.8%	20	52	1.9%	45

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表10 尿検査結果(事業場別)

2023年度

事業所	受験者数		一次検査					
			蛋白尿			尿糖		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	374	12	3.2%	1	6	1.6%	5
	女	265	8	3.0%	1	4	1.5%	3
常盤	男	162	5	3.1%	0	10	6.2%	10
	女	94	2	2.1%	0	1	1.1%	1
小串・附属病院	男	585	19	3.2%	4	16	2.7%	11
	女	1218	42	3.4%	14	18	1.5%	15
附属学校	男	18	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	女	6	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	1139	36	3.2%	5	32	2.8%	26
	女	1583	52	3.3%	15	23	1.5%	19
	計	2722	88	3.2%	20	55	2.0%	45

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(5)聴力検査

2022 年度及び 2023 年度の聴力検査結果を表 11、12 に示した。

全ての地区において、高音域の有所見者の割合が高くなっている。年齢とともに高音域が聞こえにくくなるのが要因として考えられる。2021、2022 年度は小串・附属病院地区においては、低音域の有所見者が多かったことから、経過をみていたが、このたび特に低音域の有所見者の増加はみられなかった。聴力検査の所見には、検査環境が少なからず影響していると思われる。聴力検査を実施する部屋は、設備の都合上、完全に防音できていないため、検査時の周囲の環境次第では誤判定してしまうことが否定できない。環境設備面に関しては、今後も引き続き、検査の正確性を確保するための工夫や配慮が必要と考えられた。

表 11 聴力検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		一次検査（オーディオメーターによる検査）					
			1000Hz			4000Hz		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	365	9	2.5%	0	21	5.8%	2
	女	261	2	0.8%	0	6	2.3%	1
常盤	男	172	7	4.1%	2	8	4.7%	1
	女	92	0	0.0%	0	1	1.1%	0
小串・附属病院	男	587	9	1.5%	1	12	2.0%	0
	女	1267	11	0.9%	1	17	1.3%	0
附属学校	男	15	0	0.0%	0	1	6.7%	1
	女	9	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	1139	25	2.2%	3	42	3.7%	4
	女	1629	13	0.8%	1	24	1.5%	1
	計	2768	38	1.4%	4	66	2.4%	5

※d2 以上（要観察・要注意・要精査・要医療・要治療） c1 以上(要精査・要医療・要治療)

表 12 聴力検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		一次検査（オーディオメーターによる検査）					
			1000Hz			4000Hz		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	309	9	2.9%	1	25	8.1%	1
	女	196	1	0.5%	0	5	2.6%	0
常盤	男	138	5	3.6%	3	9	6.5%	3
	女	77	0	0.0%	0	1	1.3%	0
小串・附属病院	男	357	9	2.5%	0	15	4.2%	1
	女	716	15	2.1%	0	22	3.1%	2
附属学校	男	11	0	0.0%	0	1	9.1%	0
	女	4	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	815	23	2.8%	4	50	6.1%	5
	女	993	16	1.6%	0	28	2.8%	2
	計	1808	39	2.2%	4	78	4.3%	7

※d2 以上（要観察・要注意・要精査・要医療・要治療） c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(6)胸部 X 線検査

2022 年度及び 2023 年度の胸部 X 線検査結果を表 13、14 に示した。

有所見者数について 2022 年度は 2020 年度、2021 年度と比較しても大きな変化はみられなかったが、2023 年度より要管理者が増加している。この要因の 1 つとして 2023 年度より健診業者が変わったことが考えられる。また、二次検査結果は直接 X 線撮影や、胸部 CT 検査にて異常なしとの結果であるが、中には腫瘍や肺炎、肺気腫などが判明し、治療が必要となってケースもあるため、二次精密検査は必ず受診する必要がある。胸部 X 線有所見者（要精査者以上）については、感染症等の観点からも必ず受診していただきたい。

表 13 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		所見内訳			指導区分		
			肺野所見	肺野外	結核	有所見者		要管理者
				所見	(疑い 含)	d2以上	c1以上	
吉田	男	257	5	0	0	19	7.4%	0
	女	363	16	1	0	5	1.4%	0
常盤	男	172	4	1	0	5	2.9%	0
	女	90	2	0	0	2	2.2%	0
小串・附 属病院	男	587	27	1	0	8	1.4%	1
	女	1231	9	1	0	27	2.2%	1
附属学校	男	15	0	0	0	0	0.0%	0
	女	9	0	0	0	0	0.0%	0
合計	男	1031	36	2	0	32	3.1%	1
	女	1693	27	2	0	34	2.0%	1
	計	2724	63	4	0	66	2.4%	2

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

表 14 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		所見内訳			指導区分		
			肺野所見	肺野外	結核	有所見者		要管理者
				所見	(疑い 含)	d2以上	c1以上	
吉田	男	376	16	0	0	16	4.3%	3
	女	263	5	1	0	5	1.9%	1
常盤	男	162	6	0	0	5	3.1%	2
	女	93	1	0	0	0	0.0%	0
小串・附 属病院	男	583	17	1	0	17	2.9%	3
	女	1194	25	11	0	34	2.8%	8
附属学校	男	18	0	1	0	1	5.6%	1
	女	6	0	0	0	0	0.0%	0
合計	男	1139	39	2	0	39	3.4%	9
	女	1556	31	12	0	39	2.5%	9
	計	2695	70	14	0	78	2.9%	18

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

(7) 血液検査

2022 年度及び 2023 年度の血液検査結果を表 15、16 に示した。

検査項目は、末梢血検査(赤血球、白血球、ヘマトクリット、ヘモグロビン)、肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、その他(血糖、血清アミラーゼ、尿酸)であるが、労働基準監督署に報告が必要である、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査の有所見者および要管理者を以下に示した。有所見率として最も高いのが血中脂質検査である。次いで肝機能検査の有所見者の割合が高くなっている。貧血検査に関しての有所見率は女性で高くなっている。

表 15 血液検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		一次検査															
			貧血検査				肝機能検査				血中脂質検査				血糖検査			
			有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者	
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上				
吉田	男	334	18	5.4%	8	70	21.0%	28	159	47.6%	39	61	18.3%	14				
	女	232	15	6.5%	10	20	8.6%	6	68	29.3%	23	25	10.8%	0				
常盤	男	160	12	7.5%	5	37	23.1%	14	79	49.4%	21	34	21.3%	9				
	女	78	8	10.3%	5	6	7.7%	1	26	33.3%	7	9	11.5%	0				
小串・附属病院	男	536	41	7.6%	8	136	25.4%	72	259	48.3%	77	74	13.8%	11				
	女	1203	111	9.2%	45	170	14.1%	37	324	26.9%	91	94	7.8%	12				
附属学校	男	10	0	0.0%	0	2	20.0%	0	3	30.0%	1	0	0.0%	0				
	女	7	1	14.3%	0	3	42.9%	0	3	42.9%	2	2	28.6%	1				
合計	男	1040	71	6.8%	21	245	23.6%	114	500	48.1%	138	169	16.3%	34				
	女	1520	135	8.9%	60	199	13.1%	44	421	27.7%	123	130	8.6%	13				
	計	2560	206	8.0%	81	444	17.3%	158	921	36.0%	261	299	11.7%	47				

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

表 16 血液検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		一次検査															
			貧血検査				肝機能検査				血中脂質検査				血糖検査			
			有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者	
			d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上	d2以上	c1以上				
吉田	男	336	19	5.7%	12	86	25.6%	44	166	49.4%	48	46	13.7%	12				
	女	226	14	6.2%	9	27	11.9%	5	71	31.4%	24	12	5.3%	2				
常盤	男	146	6	4.1%	3	45	30.8%	19	85	58.2%	19	30	20.5%	10				
	女	84	5	6.0%	4	10	11.9%	2	25	29.8%	9	4	4.8%	0				
小串・附属病院	男	527	30	5.7%	8	144	27.3%	76	260	49.3%	67	51	9.7%	17				
	女	1130	92	8.1%	52	158	14.0%	31	308	27.3%	73	71	6.3%	10				
附属学校	男	12	0	0.0%	0	2	16.7%	0	4	33.3%	1	0	0.0%	0				
	女	6	0	0.0%	0	1	16.7%	0	2	33.3%	1	1	16.7%	0				
合計	男	1021	55	5.4%	23	277	27.1%	139	515	50.4%	135	127	12.4%	39				
	女	1446	111	7.7%	65	196	13.6%	38	406	28.1%	107	88	6.1%	12				
	計	2467	166	6.7%	88	473	19.2%	177	921	37.3%	242	215	8.7%	51				

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(8)心電図検査

2022 年度及び 2023 年度の心電図検査結果を表 17、18 に示した。表中の数字は、各所見に該当する有所見者の人数を延べ数で示している。

心電図検査は、原則として 35 歳及び 40 歳以上の者を実施しているが、39 歳未満の者でも、診察時に医師から指示があった者については検査を実施している。心電図所見の確定と指導区分は、2010 年度から、より効率良く判定を行うため、診察医が必要と認めた場合には、保健管理センター非常勤医師(循環器専門医)に判定を依頼している。受検者数は年々増加しており、有所見者数もそれに伴って高くなる傾向がみられた。

表 17 心電図検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		所見内訳					指導区分		
			ST-T 変化	Q波	高電位	不整脈	その他	有所見者		要管理者 c1以上
								d2以上		
吉田	男	292	2	1	1	8	65	11	3.8%	5
	女	178	5	0	0	3	37	9	5.1%	2
常盤	男	144	2	1	0	7	18	5	3.5%	2
	女	73	2	1	0	0	3	3	4.1%	1
小串・附 属病院	男	336	9	0	0	12	39	27	8.0%	2
	女	668	18	2	0	10	88	61	9.1%	10
附属学校	男	6	0	0	0	0	1	0	0.0%	0
	女	7	0	0	0	0	2	0	0.0%	0
合計	男	778	13	2	1	27	123	43	5.5%	9
	女	926	25	3	0	13	130	73	7.9%	13
	計	1704	38	5	1	40	253	116	6.8%	22

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 18 心電図検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		所見内訳					指導区分		
			ST-T 変化	Q波	高電位	不整脈	その他	有所見者		要管理者 c1以上
								d2以上		
吉田	男	306	3	1	1	12	61	50	16.3%	5
	女	192	3	1	0	6	30	21	10.9%	3
常盤	男	132	5	0	0	4	18	10	7.6%	2
	女	71	2	0	0	0	10	3	4.2%	0
小串・附 属病院	男	335	2	0	0	14	43	40	11.9%	7
	女	662	22	3	0	8	99	84	12.7%	17
附属学校	男	10	0	0	1	0	2	1	10.0%	0
	女	4	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
合計	男	783	0	0	0	0	0	101	12.9%	14
	女	929	0	0	0	0	0	108	11.6%	20
	計	1712	37	3	1	43	263	209	12.2%	34

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

2. 特定業務従事者健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、労働安全衛生規則第 45 条に基づき、年に 2 回、規定の業務(労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号*)に従事する職員に対し、特定業務従事者健康診断を行っている。

各地区の実施時期、及び実施場所は表 19 のとおりであるが、健診項目は定期健康診断と同様のため、第 1 回目は定期健康診断と合わせて行っている。また、第 2 回目の項目は、身長・体重、血圧、視力、聴力、尿検査であり、胸部 X 線検査、血液検査、心電図検査は医師の判断により省略可能としているが、必要に応じて行う場合もある。

2022 年度、2023 年度における各事業場の対象者数(延べ数)は、表 20～21 のとおりである。

表 19 各地区の実施日および実施場所

地区名	実施時期		実施場所
	1 回目	2 回目	
吉田	7 月下旬～8 月上旬	1 月下旬～2 月上旬	保健管理センター
常盤	8 月下旬～9 月上旬	1 月下旬～2 月上旬	工学部保健室 (保健管理センター工学部分室)
小串 附属病院	9 月中旬	2 月中旬	医学部医心館 (保健管理センター医学部分室)

表 20 特定業務従事者健康診断対象者

2022 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	0	23	23	0	0	0	0	0	15	15	8	6	56
常盤	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	9	4	0	14
小串	1	1	17	1	0	0	0	0	0	8	2	2	8	29
附属病院	0	26	131	1	0	0	18	0	0	723	1	2	184	1131

※業務内容は延べ人数、計は実人数

表 21 特定業務従事者健康診断対象者

2023 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	0	22	20	0	0	0	0	0	12	15	9	4	49
常盤	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8	3	0	12
小串	0	1	15	11	0	0	0	0	0	6	6	3	5	47
附属病院	0	22	108	1	0	0	52	0	0	880	1	2	62	1128

※業務内容は延べ人数、計は実人数

*労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号

イ	多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
ロ	多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
ハ	ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
ニ	土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
ホ	異常気圧下における業務
ヘ	さく岩機、鋳打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
ト	重量物の取扱い等重激な業務
チ	ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
リ	坑内における業務
ヌ	深夜業を含む業務
ル	水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸 その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務
ヲ	鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを飛散する場所における業務
ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務

2) 方法と手順

健診対象者の調査は、2019年度まで健康診断の希望項目(便潜血反応検査、喀痰検査等)の調査と合わせて、安全衛生対策室及び各部局の健康診断担当係が実施していたが、2020年度より事務作業の簡略化のため希望調査の一部をWeb化し、紙面による調査が行われなくなった。そのため健診対象者調査は、各事業場の健康診断担当係と専任衛生管理者等により、それぞれの実情に合った方法で行われている。

調査内容は有害業務従事の有無、従事している場合は、その業務内容及び頻度、そして複数該当する場合は、主として従事する有害業務は何か、である。調査結果は各事業場の専任衛生管理者等が確認し、主に週1回以上、有害業務に従事していると回答した者を対象に、健康診断を実施している。

実施方法は、ほぼ定期健康診断と同様であり、対象者に事前に問診票を送付し、健診当日までに記入し持参するよう指示している。しかし、受診者が少ない場合は事前に配布せず、健康診断時受診時に記入してもらうこともある。

また、第2回目の附属病院の特定業務従事者(看護師)は各病棟で必要な検査を行い、検査結果を問診票に記入して保健管理センターに送付してもらっている。各検査結果と問診票の記載内容は保健管理センター医師が確認し、有所見者には指定された期間に保健管理センターで診察を受けるよう指示している。本来であれば全員に診察をすることが望ましいが、限られた人員と日数で行っているため、対象を絞って実施せざるを得ないのが現状である。

3) 受診状況

2022年度及び2023年度の特定業務従事者健康診断の受診状況を、表22～23に示した。表中の数字は、実施した検査の有所見者数を示している(-は未実施)。前述のとおり、第1回の特定業務従事者健康診断実施状況は定期健康診断と合わせて実施しているため、ここでは第2回目のみの受診状況を示す。

健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者が作成し、産業医が確認した上で、安全衛生対策室を經由して所轄の労働基準監督署に提出している。

表 22 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

2022年度

	受診者	実施項目の有所見者数							総合所見	
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血压	尿糖	尿蛋白	心電図	有所見 者数	要精査 以上
吉田	56	0	1	0	14	1	1	-	41	4
常盤	14	0	0	1	4	1	0	-	10	0
小串	43	0	0	0	4	3	0	-	30	0
附属病院	1100	1	2	0	54	8	10	-	455	6

表 23 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

2023年度

	受診者	実施項目の有所見者数							総合所見	
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血压	尿糖	尿蛋白	心電図	有所見 者数	要精査 以上
吉田	49	0	0	0	7	2	0	-	30	2
常盤	12	0	0	0	2	3	0	-	10	2
小串	45	0	0	0	4	2	1	-	6	0
附属病院	1091	0	1	0	50	10	19	-	555	6

3. 特殊健康診断(電離放射線)

1) 対象と概要

保健管理センターでは、「国立大学法人山口大学放射線障害予防規定」に基づき、学内の放射線取扱者の登録申請（更新を含む）を行った職員及び学生を対象に健康診断を実施している（医学部附属病院で放射線を取扱う職員は、附属病院が実施し、結果は保健管理センター所長にも送付）。この健康診断を受診することは、教育訓練の受講とともに学内で放射線を取り扱うための必須条件となっている。

この健康診断は定期には年2回実施しており、実施時期は原則として第1回目は7月上旬、第2回目は1月中～下旬である。ただし、一部対象者には実施期間外（4月、10月頃）に臨時で健康診断を実施することもあるが、これは、新規・中途採用者など、定期の健康診断実施時期より早く放射線業務に従事する必要がある者に対して行っている例外的措置である。

なお、外部医療機関等にて同等の健康診断を受診した場合、その結果を証明する文書の提出をもって、この健康診断の受診に代えることもできる。

健康診断の実施項目は、表24に示すとおりである。なお、法令に定める検査項目のうち、業務内容や被ばく歴、自覚症状等の調査結果、および過去の放射線健康診断の受診結果のもと、法令等の基準に基づいた医師の個別の判断により一部の検査項目を省略して実施する場合がある。

表24 放射線健康診断 法定検査項目

	被ばく歴 自覚症状等の調査	血液*	皮膚	白内障
新規受診	○	○	○	△
定期受診	○	△	△	△

※白血球数及び白血球百分率の検査、赤血球数及び血色素量又はヘマトクリット値の検査

○：必須項目 △：法令等に基づき医師の判断により省略することができる項目

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、問診票を各事業場の健康診断担当係が対象者へ配布し、本人による記入、管理者（指導教員・管理室長等）が記載内容を確認した後、担当係が回収を行い、保健管理センターに送付される。

この問診票をもとに、保健管理センター医師が被ばく歴や自覚症状、過去の検査結果や本人の検査希望等をチェックし、検査項目省略の可否を個別に決定している。検査実施対象者への健康診断日時等の案内については、担当係より通知される。

検査（血液・皮膚）は各地区保健管理センターにて実施し、目の検査については医学部附属病院もしくは大学の指定する学外医療機関にて実施される。これら検査結果を踏まえて保健管理医師が診断した後、就業上の措置に関する産業医等の意見を付した上で、担当係を通じて対象者へ結果が通知される。さらに、有所見者に対しては、必要に応じて外部医療機関への紹介を行い、結果報告を求めることもある。

なお、「健康診断結果に基づく就業上の措置」は、上記の各事業場産業医等による「医師の意見」等を踏まえて事業場の責任において最終的に「決定」され、本人に通知される。

なお、職員に関しては、労働安全衛生法に基づく健康診断結果報告書を各事業場専任衛生管理者が作成し、各事業場の産業医の確認の上で、安全衛生対策室を通じて所轄の労働基準監督署に提出している。

3) 受診状況

2022年度及び2023年度の放射線健康診断受診状況を表25～32に示した。

毎年度、第1回は検査対象者（検査項目の省略を不可と判定された者）数が第2回に比べ多い傾向にあるが、年度当初の構成員の入れ替わりにより、第1回目は新規登録者が多いことが主要因である。

表 25 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	6	0	6	6	6
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	2	0	2	2	0
小串	職員	12	1	11	10	1
	学生	9	0	9	9	0
合計	職員	18	1	17	16	7
	学生	11	0	11	11	0

表 26 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	76	66	10	10	0
	学生	154	92	62	62	13
常盤	職員	27	25	2	2	2
	学生	210	125	85	83	10
小串	職員	78※	75	2	2	0
	学生	18	15	3	3	1
合計	職員	181	166	14	14	2
	学生	382	232	150	148	24

※1 名調査票未提出

表 27 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	2	0	2	2	0
	学生	3	0	3	3	0
合計	職員	2	0	2	2	0
	学生	3	0	3	3	0

表 28 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	74	68	6	6	0
	学生	193	129	64	64	8
常盤	職員	28	24	4	4	2
	学生	202	197	5	5	1
小串	職員	71	70	1	1	0
	学生	21	18	3	3	1
合計	職員	173	162	11	11	2
	学生	416	344	72	72	10

表 29 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	1	0	1	1	0
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	-	-	-	-	-
	学生	3	0	3	3	2
合計	職員	-	-	-	-	-
	学生	4	0	4	4	2

表 30 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	73	61	12	12	1
	学生	185	118	67	66	15
常盤	職員	30	25	5	5	0
	学生	199	112	87	87	8
小串	職員	61	61	0	0	0
	学生	14	10	4	4	1
合計	職員	164	147	17	17	1
	学生	398	240	158	157	24

表 31 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	2	1	1	1	0
	学生	2	0	2	2	0
合計	職員	2	1	1	1	0
	学生	2	0	2	2	0

表 32 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	73	68	5	5	1
	学生	206※	168	37	37	8
常盤	職員	32	31	1	1	0
	学生	198	192	6	6	2
小串	職員	64	59	5	5	1
	学生	16	15	1	1	0
合計	職員	169	158	11	11	2
	学生	420	375	44	44	10

※1 名調査票未提出

4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)

1) 対象と概要

有機溶剤中毒予防規則(以下有機則)、及び特定化学物質等障害予防規則(以下特化則)等の特別則に基づき、一定の薬品を常時取り扱う職員を対象に、年2回、特殊健康診断を実施している。

実施時期に関しては、基本的には放射線健康診断と同様の7月上旬頃(第1回)、2月上旬頃(第2回)としているが、事業場によって多少異なる場合がある。また、健康診断項目は、法令に定めにもとづく薬品ごとに異なった検査項目を実施している。なお、2020年7月に法令改正による検査項目の一部見直しに対応して、問診票中に「作業条件の調査」(作業条件の簡易の調査)の項目を追加した。また、問診票には薬品に応じた検査項目が自動的に印字されるようになってきているが、見直し後の項目が印字されるようにシステムの修正を行なった。

大学は一般企業の工場等とは異なり、個々の研究者や研究グループ等がそれぞれの発想で作業を計画する場合が多く、少量多量の薬品を取り扱い、使用方法や、使用頻度が一定ではないことなどから、対象者の選定は特に困難である。また、特殊健診は、取り扱う薬品によって求められる検査項目が異なるため、健康診断の準備や事後整理が複雑であるが、受診者一人一人の状況を確認しながら実施している。

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、有機溶剤及び特定化学物質の使用状況を Web 調査システムもしくは紙媒体による調査を行う。業務の常時性の判断基準として、該当薬品を週に1回以上使用していることを目安に対象者を選定している。ただし、週1回未満の使用状況でも健康診断受診を希望する者や、事業場が指定するものについては、産業医、衛生管理者が使用状況を確認し、必要に応じて健診を実施することとしている。

また、使用薬品によって法定の問診項目や検査項目が異なることから、健康診断当日までに各受診者に対応した内容の問診票を作成しているが、他の健診に比べて対象者が少ないため、問診票は事前に配布せず、健康診断受診の際に手渡し、それぞれに必要な情報の記入や検査項目を受診してもらっている。

なお、特殊健診対象者は、原則として特定業務従事者健康診断(検査項目は一般健康診断と同じ)の受診対象者でもあり、両健診の同時実施の希望もあるが、受診者の多い事業場では、受診時の混乱を避けるため、特定業務従事者健康診断と特殊健康診断は原則として別日程で計画している。

3) 受診状況

2022年度及び2023年度の有機溶剤健康診断・特定化学物質健康診断の実施人数及び結果を表33～40に示した。表中の数字は、各検査における受診者数を示している。有所見者数は、診察での他覚所見を除く実施項目で要精査以上に該当する所見があった者の数である。受診対象者の業務内容は、いずれも試験研究である。

なお、労働安全衛生法の求める健康診断結果報告書については、各事業場専任衛生管理者が作成し、産業医が確認した上で、安全衛生対策室を経由して所轄の労働基準監督署に提出している。

表 33 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2022 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	11	11	11	11	0	0	0	11	1
常盤	9	9	9	9	0	0	2	9	0
小串	9	9	9	7	0	0	4	9	0
附属病院	12	12	12	12	0	0	8	12	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 34 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2022 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	11	11	11	11	0	0	0	11	0
常盤	9	9	9	0	0	0	2	9	0
小串	7	7	7	7	0	0	5	7	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	10	0

※実施項目のうち9「尿代謝産物」は延べ数

表 35 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2023 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	10	10	10	10	0	0	0	10	0
常盤	4	4	4	0	0	2	2	4	0
小串	6	6	6	6	0	0	5	6	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 36 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2023 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	10	10	10	10	0	0	0	10	0
常盤	7	7	7	0	0	0	1	7	0
小串	5	5	5	5	0	0	3	5	0
附属病院	11	11	11	11	0	0	8	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 37 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2022 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			2									2					0
常盤								1	1					1	1	1	0
小串	1	2			2	3	2			1		3					0
附病					3	3		2									0

表 38 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2022 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			3									2	1		1		0
常盤								1	1			1			1		0
小串	1	1			2	2	1					1					0
附病					2	2		2									0

表 39 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2023 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			1								1	2			1		0
常盤								2	1			1					0
小串	1	2			1	2	1			1		1					0
附病				2	1	1		1									0

表 40 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2023 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			1					1	1		1	2					0
常盤								1	1		1	1			1	1	0
小串	1	1			2	2	1			1		1					0
附病				1	1	1		1				1					0

5. がん検診等

1) 対象と概要

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。がん検診に関しては、安全衛生対策室が実施主体であり、安衛室が実施時期や方法などの計画立案を行い、外部業者に委託契約して検診を実施している。2016 年度に前立腺がん検診を新たに追加し、一部個人負担が導入された。2017 年度には、がん検診の申し込み手順及び受診方法が変更され、安衛室で作成・運用している Web ページから受診希望者各自で申し込みすることで、事務作業の簡素化が図られた。また、この他胃がんリスク検診や指導勧奨に基づく特殊健康診断として情報機器業務従事者特殊健康診断を実施している。保健管理センターでは、検診会場の提供及び事前準備(設営)、健診結果の保管管理を行っている。

各がん検診の対象者と検診項目を表 41 に、2022 年度及び 2023 年度の各地区の実施時期及び実施場所を表 42、43 に示した。

表 41 がん検診等の対象者および検査内容

検診項目	対象者	検査内容
肺がん検診	40歳以上	問診、胸部X線(デジタル)、喀痰検査(たばこ指数(BI)600 以上あるいは血痰既往の希望者)
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血反応検査(2日法)
胃がん検診	40歳以上	問診、胃部X線検査
胃がんリスク検診	40歳以上	血液検査(萎縮性胃炎検診<ペプシノーゲン法>) ※定期健診時に同時実施(2017 年度から)
前立腺がん検診	40歳以上 男性職員	血液検査 ※定期健診時に同時実施(2017 年度から)
乳がん検診	40歳以上 女性職員	問診、視触診(2022 年のみ)、乳房 X 線検査(マンモグラフィ) ※2年に1回(生まれ年で対象者を調整)
子宮がん検診	20歳以上 女性職員	問診、視診、内診、細胞診(子宮頸部) ※2年に1回 (生まれ年で対象者を調整)
情報機器業務従事者特殊健康診断	情報機器業務に従事する全職員	問診、眼の検査(視力、眼位、調節機能)、握力検査

表 42 各地区の実施日および実施場所

2022 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/29, 30	9/26	9/20, 21	8/26
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
前立腺がん	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
乳がん	実施日	12/2, 20	12/16	12/9, 14, 21, 22	12/16
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	産学連携棟横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	12/2, 20	12/16	12/9, 14, 21, 22	12/16
	場所	保健管理センター横 検診車	産学連携棟横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
情報機器業務従事 者特殊健康診断	実施日	8/29, 30	9/26	9/20, 21	-
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	-

表 43 各地区の実施日および実施場所

2023 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/19~7/27	8/2~8/4	9/5~9/14	4/5
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/19~7/27	8/2~8/4	9/5~9/14	4/5
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/30, 31	8/29	9/19, 20	8/29
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/19~7/27	8/2~8/4	9/5~9/14	4/5
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
前立腺がん	実施日	7/19~7/27	8/19, 20, 23	9/7~16	4/5
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
乳がん	実施日	11/29, 12/8	12/5	11/27, 28, 12/12, 13	12/5
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	工学部保健室横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	11/29, 12/8	12/5	11/27, 28, 12/12, 13	12/20
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
情報機器業務従事 者特殊健康診断	実施日	8/30, 31	8/29	9/19, 20	8/29
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	附属光中学校保健室

2) 受診状況

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。

表 44 各種がん検診受診結果(事業場別)

2022 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	452	21	431	21	0	※喀痰検査件数 吉田 6 件 常盤 3 件 小串・附属病院 3 件 附属学校 1 件
	常盤	210	7	203	7	0	
	小串・附属病院	946	35	911	33	2	
	附属学校	12	0	12	0	0	
大腸がん	吉田	136	5	131	0	5	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	70	3	67	0	3	
	小串・附属病院	305	11	294	0	11	
	附属学校	18	0	18	0	0	
胃がん	吉田	87	14	73	12	2	※要精査内訳 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	44	9	35	8	1	
	小串・附属病院	126	23	103	20	3	
	附属学校	1	0	1	0	0	
前立腺がん	吉田	67	2	65	0	2	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	42	2	40	0	2	
	小串・附属病院	68	0	68	0	0	
	附属学校	1	0	1	0	0	
乳がん	吉田	57	3	54	0	3	※指導区分は視触診及びマンモグラフィー検査との総合判定 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	18	3	15	1	2	
	小串・附属病院	196	19	177	3	16	
	附属学校	3	1	2	0	1	
子宮がん	吉田	64	6	58	1	5	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	19	0	19	0	0	
	小串・附属病院	210	9	201	3	6	
	附属学校	2	1	1	1	0	

表 45 胃がんリスク検診受診結果(事業場別)

2022 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	67	60	4	2	1	
	常盤	34	28	6	0	0	
	小串・附属病院	141	118	19	4	0	
	附属学校	0	0	0	0	0	

表 46 情報機器業務従事者健診受診結果(事業場別)

2022 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
情報機器業務従事者 特殊健康診断	吉田	22	8	14	0	
	常盤	6	4	2	0	
	小串・附属病院	20	14	6	0	
	附属学校	16	11	5	0	

表 47 各種がん検診受診結果（事業場別）

2023 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	482	22	460	18	4	※喀痰検査件数 吉田 6 件 常盤 2 件 小串・附属病院 5 件 附属学校 1 件
	常盤	194	7	187	5	2	
	小串・附属病院	948	41	907	30	11	
	附属学校	11	1	10	0	1	
大腸がん	吉田	134	8	126	0	8	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	64	2	62	0	2	
	小串・附属病院	287	10	277	0	10	
	附属学校	5	0	5	0	0	
胃がん	吉田	74	37	37	32	5	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	34	10	24	8	2	
	小串・附属病院	86	39	17	37	2	
	附属学校	4	3	1	3	0	
前立腺がん	吉田	77	1	76	0	1	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	35	1	34	0	1	
	小串・附属病院	74	2	72	0	2	
	附属学校	3	0	3	0	0	
乳がん	吉田	50	4	46	0	4	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	25	4	21	0	4	
	小串・附属病院	175	31	144	0	31	
	附属学校	7	0	7	0	0	
子宮がん	吉田	57	2	55	0	2	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	25	4	21	1	3	
	小串・附属病院	206	12	194	3	9	
	附属学校	8	0	8	0	0	

表 48 胃がんリスク検診受診結果（事業場別）

2023 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	63	54	6	2	1	
	常盤	26	19	6	1	0	
	小串・附属病院	127	103	20	4	0	
	附属学校	2	2	0	0	0	

表 49 情報機器業務従事者健診受診結果（事業場別）

2023 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
情報機器業務従事者 特殊健康診断	吉田	22	8	14	0	
	常盤	6	4	2	0	
	小串・附属病院	20	14	6	0	
	附属学校	16	11	5	0	